



教育目標「学ぶ心 自主の心 思いやりの心」

校訓「勤労 自主 誠実」

学校だより 3月号

令和6年3月14日

八王子市立元八王子中学校

校長 山口 徹

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/mthtj/>

## 「自信と成長」

校長 山口 徹

今月に入り八王子でも2回も雪が降るなど寒暖の差が激しい日が続くためなのか、校内においても感染症に罹患する生徒が目立ち、一部の学級で学級閉鎖を余儀なくされる状況がありました。19日(火)の卒業式には、全校生徒が参加して3年生の旅立ちをお祝いできるように、生徒たちには健康管理に気を付けるよう注意喚起しています。また、校庭に目を向けると桜の花が少しずつ開花しているのを発見し、春が近づいているのを感じるとともに卒業式にはきれいな桜を見ることができのを楽しみにになりました。その反面、来年度の入学式には、桜が散ってしまい「入学式＝満開の桜」と言うことが、今後は「卒業式＝満開の桜」となるのも当たり前になるのかと少し複雑な気持ちになりました。今一人一人が温暖化に対して、危機意識を強くもつと同時に温暖化を止める行動を起こしていかないと日本の四季の美しさが見られないと思うと残念な気持ちになりました。

さて、令和5年度も残すところあとわずかとなりました。先日の全校朝礼では、生徒たちに2つの話をしました。第1に「自分を成長させることができましたか？」年度当初に生徒たちにこの1年間で少しでもいいので自分自身を成長させよう。そのためにはどのような目標をもって、どんな行動をしたらいいのか考えて行動をしよう。今この1年間を終えて振り返ると、一人一人必ず一つは成長した点があるはず。自分の長所を見つけることが苦手な生徒が多いのと同じように、自分の成長した点を見落としてしまう生徒がいる。大きく成長した生徒もいればちょっとしか成長していない生徒もいるかもしれないけれど、自分が必ず頑張ったことがあれば、その頑張ったことは昨年よりの成長しているはず。人と比べるのではなく、自分自身が頑張ったと思ったことでいい。そのことが、自信につながり来年度の成長にもつながっていきます。また、課題となったことを具体的に上げること。自分が課題となったと思ったことは、その点をもっと成長させたいと強く思っている。それが、自分がどんな大人(人間)になりたいのか真剣に考えていることにもつながっていきます。自分自身を成長させることは、自分自身を大切にしていることでもある。来年度、3年生はそれぞれの進路で、目標をもって自分自身を成長させて欲しい。1・2年生は、それぞれ進級した学年で今まで以上に成長して欲しい。みんなが成長することで、元八王子中学校もいじめもなく楽しい学校になっていくはず。

第2に「13年前の3・11を振り返り、八王子の街のことを考えよう」13年前の東日本大震災で、多くの人命を失うとともに大きな被害がもたらされ、今も復興に向け頑張っている。今年も石川県を中心に能登半島地震が起き、多くの被害があったことは、自分のこととして考えて欲しい。自分たちの街「八王子」で大きな地震が起きた時に、被害を最小限に食い止めるためには、どのような街づくりをしたらいいのか、中学生としての視点でいいので考えて提案をして欲しい。大好きな「八王子」を住みやすいより良い街にしていこう！

私たち教職員もこの1年間を振り返って、生徒や保護者、地域の方々にとっての元八王子中学校がどの様に成長し、どの様な課題が残ったのか話し合いをしました。生徒が安心して学校生活を送るためにはどうしたらよいか。生徒一人一人を成長させるためには、どの様な教育活動をしていけばよいか。また、保護者や地域の方々とのように協力していくのが良いのか。今後も学校が成長していくように考え取り組んでいきます。詳しくは、「令和5年度 学校経営報告」に掲載しました。

この1年間、保護者や地域の皆様には、学校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。また、令和6年度も生徒のために教育活動に取り組んでいきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

# 令和5年度 学校経営報告

八王子市立元八王子中学校

校長 山口 徹

## 1. 教育目標

- 学ぶ心       自主の心       思いやりの心

## 2. 校訓

- 勤労       自主       誠実

## 3. めざす学校像

- 生徒一人一人が成長する学校       いじめのない学校  
 地域を大切にする学校       教職員が教育活動に責任をもって取り組む学校

## 4. めざす生徒像

- 授業を大切にする生徒       学校や地域の行事に積極的に取り組む生徒  
 自分や他人を大切にする生徒       自制心とやり抜く力をもった生徒

### 【成果と課題】

- 多くの生徒は、落ち着いて授業に取り組むことができたが、一部生徒に授業内容の理解に時間がかかることから授業に集中力に欠け話をする、寝てしまう生徒がいた。今後もわかる授業の実践や家庭学習の定着を図り、落ち着いて自ら授業に取り組む姿勢を育成していく。
- 自制心とやり抜く力については、昨年度に引き続き朝礼などいろいろな場面で話すことで、意識して学校生活に取り組む生徒が増えた。
- 体育大会、合唱コンクール、宿泊行事などを通して、一人一人が自覚をもって積極的に行事に取り組むことができた。また、今年度も児童館の行事にボランティアとして、参加する生徒も増えた。
- 年3回のいじめに対する授業などを通して、命の大切さを理解して自他を大切にする意識が高まってきている。

## 5. めざす教師像

- 常に向上心をもって学びあう教師       チームとして成長する教師  
 生徒・保護者・地域から信頼される教師       教育公務員として責任と自覚をもった教師

### 【成果と課題】

- 若手教員を中心に授業研究に積極的に取り組んできた。また、他校の指導教員の授業を参観するなど意欲的な教員も見られた。しかし、全体的に授業研究の実施時期が2学期の後半に集中するなど他の教員から学ぶ機会が少なくなっていたので、来年度は全教員の授業改善の意識をより一層高めていく。
- OJTを通して、若手教員の授業力や生活指導力、外部との折衝力、組織貢献力を高めることができた。
- 学校だよりやホームページ、Home&Schoolで適宜情報発信をしてきた。
- 教員自ら授業開始時間を守るなど生徒の模範となる行動を心掛けてきた。また、個人情報管理にも教員間で声掛けをし、事故が未然に防いでいた。

## 6. 中期的な目標及び達成させるための方策

重点目標1 「生徒一人一人の学力の向上」

方策

### ① 基礎・基本的な学力の定着

- ・繰り返し学習や習熟度別少人数学習(数学・英語)の実施。
- ・授業や家庭学習において、タブレットを効果的に活用。
- ・全国・都・市の学力調査の結果をもとに個に応じた指導。
- ・生徒が自主的に家庭学習に取り組めるように家庭学習の手引きの見直しとミライシードの活用。
- ・ボランティア等を活用した放課後や長期休業中の補習教室の実施や近隣小学校の補習教室への参加。
- ・小中一貫カリキュラム(元八王子小・式分方小)の実施。

### ② 学習意欲の向上

- ・全教育活動において、体験や問題解決的な学習を取り入れ自制心ややり抜く力を身に付けさせる。
- ・できたことを褒めることで自己肯定感を高め、主体的な学習態度を身に付けさせる。
- ・キャリア教育を通して、夢や希望を実現させる気持ち(意識)を高める。
- ・学校司書による読み聞かせなどを通して、10分間の朝読書の定着。
- ・学校司書との協働による図書館を活用した授業の実施。
- ・発問の工夫とともに対話的な授業を取り入れ学習意欲を高める。
- ・SDGsを総合的な学習の時間等の柱として、現代社会における課題に目を向けさせ一人一人に課題解決の方法を考えさせる。
- ・郷土学習を通して、身近な地域の課題から学ぶことの必要性に気づかせる。

### ③ 授業力の向上

- ・全教師による年1回以上「主体的・対話的で深い学び」の授業研究と協議会を9月までに実施し、授業改善を図る。
- ・校内研修「生徒の実態に応じた指導法の改善、ICT機器の効果的な活用方法、指導と評価の一体化、特別な支援を要する生徒への理解」の実施。
- ・年2回(6月・12月)生徒による授業評価の実施。
- ・9月に授業評価と学力調査(全国・都・市)による授業改善策の提案と実践。
- ・学習規律の定着。(チャイムと同時に授業の開始と終了)

## 【成果と課題】

- ・家庭学習の定着のために、ミライシードの活用を学年だより及び教員からの声掛けで促してきたことで昨年度よりも活用する生徒が若干であるが増えてきた。
- ・年間20回の放課後の補習教室を実施した。部活単位で参加する生徒も増えたが、各自の課題をもって参加する意欲に欠ける生徒も見られたので、来年度は宿題などの課題をもって参加させるようにしていく。
- ・校内研修を通して、効果的にタブレットや電子黒板を活用することを学び、生徒の興味関心を高めることができた。来年度は、より一層効果的に活用する方法を全教員で学んでいく。
- ・授業評価や各種の学力調査をもとに授業改善プランを立て、授業に生かしてきた。生徒に対しても三者面談等で各自の課題を示し、学習への取組方を指導してきた。
- ・学校行事を通して、自制心とやり抜く力を高めることができた。
- ・学校司書などによる読み聞かせを行ってきたが、前半読書への関心が低かった。しかし、後半図書委員会を活用するなど生徒が主体的に読書への呼びかけを行ったことで朝読書が定着してきた。
- ・教科や総合的な学習の時間で、SDGsの学習を行うことで社会全体に関心をもつ生徒が増えてきた。今後は、総合的な学習の時間でのSDGsの学習をより一層深めていく。
- ・今年度も車人形などの体験学習を行うことで、今まで以上に郷土に関心をもつ生徒が増えた。
- ・全教員による授業研究が、後半に行われるなど授業改善意欲を高めることにやや課題が残った。

・特別支援委員会で、配慮を要する生徒への手立てを話し合い、全教員で情報の共有と実践に取り組んできた。

・年度の初めに授業の受け方など学習規律について指導してきたが、一部の生徒に課題が残った。

重点目標2「生徒一人一人を大切にした教育活動の充実」

方策

① 人権教育の充実

- ・特別の教科「道徳」を中心に、生命尊重・人権尊重の精神を育む。
- ・週1回の学校いじめ対策委員会の実施、年3回の生徒へのいじめアンケート調査、年3回のいじめに対する授業、年3回の教員対象としたいじめ研修を通して、いじめに対して絶対に許さない態度で早期発見・早期対応に努める。
- ・二者、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用を通して、教育相談を充実させる。
- ・特別支援学級との交流活動を通して、思いやりの心を育てる。
- ・生徒の模範となるように生徒の人権を尊重するとともに生徒と教員とであいさつ運動の実施。

② ルールとマナーの徹底

- ・年度当初に生徒に授業や学校の決まりを守ることの大切さを説明し、自制心ややり抜く力を身に付けさせる。また、生徒のよりよい成長を願って、学校と保護者との協力体制をつくる。
- ・生徒と共に学校のルールを見直し、授業規律をはじめルールの意義を理解させ、自ら判断できる力を養う。
- ・授業開始・終了時のあいさつを通して、マナー教育を充実させる。
- ・落ち着いた学校生活を送るために教室の整理・整頓をし、学習環境をつくる。
- ・問題行動に対しては、教職員間の連絡を密にし、実体的確な把握と迅速な対応を図る。

③ 体験活動の充実

- ・学校行事や部活動を通して、達成感や成就感をもたせるとともに自制心ややり抜く力を身に付けさせる。
- ・地域の行事に参加させることで、地域社会の一員としての自覚をもたせるとともにボランティア精神を育む。

④ キャリア教育の充実

- ・職場体験や職業講話を通して、社会に貢献することの大切さや働くことの意義を理解させる。
- ・高校の先生の話やキャリアパスポートを活用して、主体的な進路の選択と将来設計を考えさせる。
- ・地域の人材を活用することで、自分の将来をより身近なものとして考えさせる。

④ 安全・安心な学校

- ・新型コロナウイルス感染症への感染防止のために、必要な時期に健康観察の実施、手洗いの徹底、マスクの着用、3密を避けるなどの指導を行う。
- ・安全・健康に対して、基本的な知識や技術を理解し、自ら判断して行動する力を身に付けさせる。

⑥ 不登校傾向のある生徒への手立て

- ・不登校傾向のある生徒に対して、Web 会議ツールを活用し面談や学習サポートの実施。

【成果と課題】

- ・特別の授業道徳において、年間指導計画に則って生命尊重・人権尊重の大切さを指導してきたことで、友達同士で優しい言葉かけを行う場面も見ることができた。
- ・昨年度に引き続き、週1回のいじめ対策委員会を通して、全教員でいじめを確認し早期対応を心掛けいじめ解消に取り組んできた。いじめ解消後も対策委員会で、該当生徒の様子を確認するなど長期にわた

って見守りを続けてきた。また、学校サポートチームへの報告を行い、助言等をいただいた。

- ・全教員による生徒との二者面談を行ったことで、生徒の悩みに親身に寄り添い相談することの大切さを理解させた。
- ・学校全体で、あいさつ運動に取り組んできたことで、生徒同士のあいさつも増えてきた。また、近隣小学校とも連携し、児童生徒によるあいさつ運動も行い、中学生としての自覚をもつことができた。
- ・年度当初に授業や学校の決まりを守ることを説明することで、落ち着いた学校生活を送ることができたが、一部の生徒に学校生活に慣れたことで気持ちの緩みが出てしまった。
- ・体育大会や合唱コンクール、修学旅行、移動教室など学校行事を実施したことで仲間への思いやりや協力することの大切さなどを学ぶことができた。
- ・元八王子児童館の活動に生徒会やものづくり部、科学部、美術部、ボランティアなど多くの生徒が近隣中学生と共に参加した。
- ・今年度も引き続き八王子青年会議所の方々に協力していただき、働くことへの意識を高めることができた。
- ・毎朝の健康チェックと同時に生徒の様子を把握することで、生徒の情報を教員間で共有し、落ち着いた学校生活が送れるように声掛け等を行った。
- ・教員の朝の打合せを通して、不登校傾向のある生徒やコロナ不安のある生徒に対するオンライン授業の実施の確認を行うことで、学び残さないように取り組むことができた。

その他

- ・学校の教育活動に多くの保護者や地域の方に参加してもらうために情報発信を工夫する。
- ・地域運営学校・青少年対策委員会と連携し、地域の教育力を学校教育に生かす。
- ・教職員がPTA活動や地域の活動に積極的に参加し、連携を深める。
- ・地域の諸機関と連携し、特別支援教育を推進する。

## お別れ会

3月2日(土)に8組は『学級お別れ会』を体育館で開きました。1年間の学習の成果を保護者や学校公開で参観にいらした方に発表しました。合唱コンクールで演奏した『いのちの歌』のオカリナ&キーボードによる合奏、2月の『劇と音楽の会』で出演したダンス(宿命、群青、ダンスホール)の発表、1・2年生より送る言葉、担任からの3年間の思い出ビデオなど・・・最後に全員で合唱をしました。一緒に過ごした仲間への感謝の気持ち、旅立ちへのメッセージなど、心温まるお別れ会となりました。3月2週目からは卒業に向けての準備が始まり、一緒に授業を受ける機会が少なくなってきました。給食や終学活の時間に全学年が集まると、和やかな雰囲気になっています。残り少ない時間ではありますが、3年生との時間を有意義に過ごしてもらいたいです。

〔8組学級主任〕



## 己書

3年生は、3月11日(月)に己書(おのれしょ)の講師をお招きし、卒業記念品として己書を作成しました。今回は自分の好きな漢字を1つ選び、講師の方々に作っていただいた見本を見ながら、色紙に己書を書きました。己書の書き方には簡単なコツはありますが、絶対こうしなければいけないなどというルールはないので、自らが思うがまま、自由に筆を走らせ、自分の世界観を楽しく表現していました。

〔3年担当〕



## 部活動

女子バレーボール部 第七ブロック一年生大会 優勝  
おめでとう！！



## クリーン活動

3月10日(日)に青少対主催のクリーン活動が行われました。事前に生徒に呼びかけたことで、多くの生徒が活動に参加してくれました。今まで地域の方々にお世話になっていたの、少しでも地域に貢献できるようにとともに自分たちの街を自分たちできれいにしようという気持ちが育ったことと思います。また、地域の方にペットボトルのキャップの回収を呼びかけたところ、たくさんのペットボトルのキャップが集まり、生徒会からお礼の言葉を伝えました。 [生徒会担当]



## 香りのエチケット

市民、保護者から教育委員会へ「香りや化学物質による体調不良のために学校生活に支障をきたしている」ことについての相談ありました。それを受けて、各学校で保護者に「香りのエチケット」について周知することになりましたのでお知らせします。

柔軟剤、芳香剤などの強い香りを伴う製品が多く流通するようになり、それによって様々な症状が出現することがあることから、最近では「香害」と呼ばれることもあります。原因が明確ではなく、個人差があるため、周りから理解と協力が得られず、学習に困難をきたしているケースなどがあります。

〔原因となる可能性のあるもの〕

洗剤、柔軟剤、芳香剤、消臭剤、シャンプー、コンディショナー、殺虫剤(虫よけスプレー)

〔主な症状〕

頭痛、吐き気、だるさ、息苦しさ、咳、めまい

【問い合わせ】

八王子市教育委員会学校教育部教育指導課

指導主事 電話 042-620-7412 保健担当 電話 042-620-7330

## 春休みの過ごし方

春休みは、生活時間がルーズになることが多い時です。起床・食事・睡眠時間に気を配り、1日の生活のリズムを大切にしてください。外出する際は、行き先、用件、帰宅時間を保護者の方に伝えてください。自転車に乗る場合は、ヘルメットをかぶり、交通事故には十分注意しましょう。今年度、SNSでのトラブルが多くありました。個人情報の扱いも含め、あらためて使い方を考えてください。何か困ったことがあったら、保護者の方、先生に相談してください。

4月1日からは新2年生、新3年生にそれぞれ進級します。決意も新たに新学期をスタートできるように、これまでの生活を振り返り、自身の成果と課題を見つけてください。 [生活指導主任]

## 始業式・入学式

4月8日(月) 登校 8時30分

(午前) 着任式・始業式 学活・入学式準備等

(午後) 入学式 14時 下校 15時30分

〔持ち物〕 上履き、体育館履き、筆記用具、お弁当、ネクタイ、リボン [教務主任]